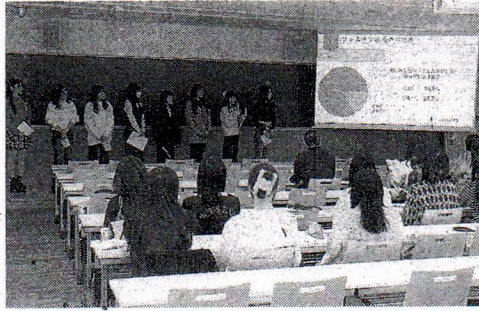


3女子大が問題解決型産学プロジェクト

実践女子大学、大妻女子大学、跡見学園女子大学の3校は今秋、ハーブやアロマ関連商品の企画・製造・販売を手掛ける生活の木と協業し、問題解決型産学プロジェクトを行った。3校と社との取り組みは、昨年度に続き2回目。今回は「フェムケア市場とアロマ・ハーブの可能性を考える」をテーマに、40、50代女性が主要顧客の生活の木の現状を分析し、20代女性への同社のフェムケア商品の訴求法を考えた。

参加したのは実践女子大から9人、大妻と跡見学園女子大から各12人の3年生23人。3校の混成で4チームに分かれ、課題の解決に取り組んだ。7月末に生活の木から課題を提示され、PRするフェムケア商品の試供品を夏休み中に学生自ら体感。10～11月にオンラインも活用してほぼ毎週、チーム別会議と全体会議を開き、フェムケアの展示会も視察して企画を練り上げた。最終報告会は12月に大妻女子大で行った。

最終報告会では1班は、2種類セットの試供品を作り、ホテルや美容サロン、ランジェリー店で説明書付



4チームに分かれて課題の解決に取り組み、最終報告会で発表した。直営店では低価格で販売する案を発表。2班と4班は、リールなど短時間の動画を使った販促を提言した。3班は季節限定の個包装のデリケートゾーンふき取りシートや、ギフト需要向けの訴求を提案。4班は期間限定カフェで、同社商品やフェムケアの試供品を提供する案も示した。

生活の木の担当者は「各チームの消費者アンケートの結果は、貴重な情報として社内で共有したい。若い世代に抵抗感が少ない価格や商品の傾向、競合他社製品と違いが分かりにくい課題の指摘など参考になった。完成度の高い発表、試供品や季節商品、ギフト向けなど従来はなかった視点での提案もあり、現実化も含め検討したい」と語った。

20代向け訴求法を提案 生活の木のフェムケア製品の

SENKEN

2024年
(令和6年)

12月23日
月曜日

織
研
新
聞

織研新聞社

発行所
〒103-0015 東京都中央区
日本橋箱崎町31-4

編集局
03・3664・2341
業務局
03・3639・8030
大阪支社
06・7639・0570
名古屋支社
052・231・2600

ご購入は ☎ 0120-559801

SUSTAINABLE DESIGN DX RENTALS
MANNEQUIN FURNITURE DISPLAY
デザイン・仕器・マネキン・店舗DX・サステナブル対策
商空間のすべてを。
ADDIS MUSE
アディスマユース